

# 疲れさせないキュウリづくり

## 栽培のポイント

●キュウリ栽培は根づくりから！

栽培期間中、常に新根を張らせる管理を行います。  
そのために作が終わった時点から残渣処理、土作りを始め  
長期収穫を目指しましょう。

●草勢維持の追肥でウドンコ病対策！

収穫初めの頃より、追肥遅れで草勢が低下するとウドンコ  
病が発生し始めます。追肥はMB動物有機などボカシ肥を  
中心に行い、安定した肥効を維持しましょう。また、Mリ  
ンPK類を効かせて、詰まった節間を維持しましょう。



### 春夏キュウリの施肥提案（1a＝30坪）

資材名	元肥	追肥（収穫初め頃から連用）	
		置肥（10～14日おき）	液肥（7～10日おき）
苦土入りMリンPK	5kg	2kg	MリンPK液肥の素 200g
バクヤーゼK	30kg	10kg	アミビタゴールド 2kg
NK化成	1～2kg	—	—

発根促進のため、バイオ根助 200～300mlを5～7日おきにカン水

根痛み防止のため、サンレッド 10mlを10～15日おきにカン水

### アミノ酸液肥の使い分け

収穫量が多くなったら、アミビタゴールド  
の代わりに、チッ素量が多く、根の活性化  
効果があるアミビタA液肥を使用する。

#### 【アミビタA液肥の作り方】

- ・アミビタゴールド 20kg
- ・サンレッド 200ml
- ・尿素 10～20kg

上記資材を100Lになるように水を加えて、  
3日以上熟成させ、カン水またはカン注。



水分溢れる瑞々しいキュウリ

### 根づくりのための土作り

作付の30日前までに、バクヤーゼ堆肥 15～20袋、バイオ健太クン1袋、  
Mイーシー 1～2kg+米ヌカ 6～12kgを施用し、浅耕する。